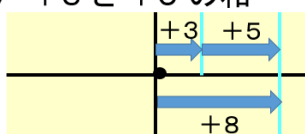


＜くめあて＞正の数と負の数のたし算は、どのように計算すればよいのだろうか。

たし算 ⇔ 加法， 加法の結果 ⇔ 和

同符号の数の加法

(1) +3と+5の和

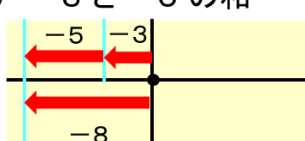


$$\begin{aligned} &(+3) + (+5) \\ &= +(3+5) \\ &= +8 \end{aligned}$$



和の符号は、2つの数と共通の符号になっているね。

(2) -3と-5の和



$$\begin{aligned} &(-3) + (-5) \\ &= -(3+5) \\ &= -8 \end{aligned}$$

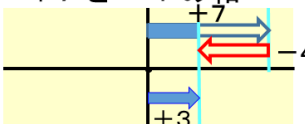


絶対値は、2つの数の絶対値の和になっているね。



異符号の数の加法

(1) +7と-4の和

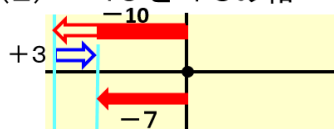


$$\begin{aligned} &(+7) + (-4) \\ &= +(7-4) \\ &= +3 \end{aligned}$$



和の符号は、絶対値の大きいほうの符号になっているね。

(2) -10と+3の和



$$\begin{aligned} &(-10) + (+3) \\ &= -(10-3) \\ &= -7 \end{aligned}$$



絶対値の大きいほうから小さいほうをひいているね。

絶対値の等しい異符号の数の加法



$$(-3) + (+3) = 0$$

＜まとめ＞

1 同符号の2数の和

絶対値の和に共通の符号をつける。

$$(-4) + (-8) = -(4+8) = -12$$

共通の符号

たす

2 異符号の2数の和

絶対値の大きい方から小さいほうをひき

絶対値の大きいほうの符号をつける。

$$(-7) + (+5) = -(7-5) = -2$$

絶対値の大きい
ほうの符号

ひく

絶対値が等しい異符号の2数の和は、0